

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 16 日

評価対象事業		評価者	市民健康課長 石黒 知美	
健福-42	実施事業	成人健康診査事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 市民健康課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 保険年金課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	健診対象年齢に達した市民
意図	生活習慣病の予防と重症化の防止、結核の早期発見・治療のため。
効果	市民1人ひとりが自分の健康状態に留意し、健康を害する生活習慣を改善し、医療費の抑制につなげる。結核を予防し、まん延を防ぐ。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・肺の直接X線撮影を実施した。(16歳～39歳) ・若年期からの生活習慣病予防のため、20歳代～30歳代の方を対象にキット健診を実施した。(偶数年齢で隔年実施) ・40歳の方に無料で肝炎検診を実施した。(無料クーポン券検診) ・40歳以上で今まで鎌倉市の肝炎検診を受診していない希望者(無料クーポン券検診に該当しない方)に肝炎検診を実施した。 ・20歳～36歳の方に4歳刻みで、40歳～70歳の方に10歳刻みで歯周病検診を実施した。(問診、口腔内検査)
--

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備考
	人口	177,243人	176,869人	人口	176,466人	
世帯数	80,676世帯	80,928世帯	世帯数	81,150世帯		
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数		
	決算値(千円)	15,960	7,104	当初予算(千円)	122,742	
	国県支出金	10,879	3,955	国県支出金	7,600	
	地方債	0	0	地方債	0	
	その他	0	0	その他	100,635	
	一般財源	5,081	3,149	一般財源	14,507	
事業経費運営	人員配置数	0.4	1.5	人員配置数	1.1	
	人件費(千円)	3,225	11,639	人件費(千円)	8,551	
	総事業費(千円)	19,185	18,743	総事業費(千円)	131,293	
	市民1人当りの経費(円)	108	106	市民1人当りの経費(円)	744	
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	平成29年度から、高齢者保健事業のうち後期高齢者健診等の健康診査にかかる予算を成人健康診査事業に統合した。そのため、予算額が大きく変わっているが、内容としては、現状維持である。なお、市民へ健診の受診機会を提供するため、引き続き、予算要求を行っていく。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	「鎌倉市健康づくり計画」の目標である、市民の健康寿命の延伸、生活習慣病の重症化予防、早期発見・早期治療を推進をするため、引き続き、健診の受診機会を提供していく。また、一人でも多く健診を受診してもらえるように、市民への周知方法等を検討していく。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	受診率の伸び悩み(特に、生活習慣病発症リスクの高い30歳代男性)を解消する必要がある。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	生活習慣病の健診であるキット健診について、受診率低下の原因のひとつに、郵便局での振り込みによる自己負担金の支払い方法があると考え、申込みから結果受取までをスマートフォンやパソコンで行う「スマホdeドック」を平成27年度は自己負担金無料で導入し、受診者の利便性の向上を図った。受診率が向上したため、平成28年度は、自己負担金を徴収し、今後のあり方を検討した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	「スマホdeドック」を導入後、平成28年度は初めて自己負担金を徴収した。そのため、平成27年度ほどの受診者数は確保できなかった。引き続き、周知方法や対象年齢、自己負担金のあり方等を検討する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較)

比較事項	若年層(20歳～39歳)の生活習慣病健診実施の有無						
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	三浦市	綾瀬市	
他市実績	○	×	×	×	○	○	
	郵送健診				集団健診	国保特定未受診者	

比較事項	若年層(20歳～39歳)の歯周病検診実施の有無						
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市			
他市実績	○	○	×	×			

比較事項							
団体名							
他市実績							

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	20歳代30歳代の若年層を対象に、生活習慣病健診として、スマホdeドックを導入している。スマホdeドックとは、郵送で行う在宅健診であり、自分の都合の良い時間等に気軽に検査することができる。若年層に生活習慣病を意識してもらい、健康寿命の延伸を図るため、今後も実施していく。また、歯周病検診及び乳がん視触診指導についても、同様に実施していく。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	スマホdeドック(キット健診)受診率						単位	%	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				平成27年度は、自己負担金無料で実施。
20歳代30歳代の若いうちから、生活習慣病予防の意識をもってもらう、健康寿命の延伸を図るため	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0				
	実績値	5.5	17.7	6.9							
	達成率	55.0%	177.0%	69.0%							

指標の内容	歯周病検診の受診率(40・50・60・70歳)						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				健康増進事業に定められている対象年齢のみを計上。
受診率が低い、受診率の向上に努める	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0				
	実績値	4.9	5.2	5.2							
	達成率	49.5%	51.6%	51.8%							

指標の内容	歯周病検診の受診率(20・24・28・32・36歳)						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				健康増進事業に定められている対象年齢以外を計上。
受診率が低い、受診率の向上に努める	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0				
	実績値	2.3	2.7	2.0							
	達成率	46.4%	54.6%	39.8%							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成26年度までは、従来のキット健診を使用しており、申し込み方法は郵便局の窓口で支払う方法のみであった。平成27年度から、スマホdeドックを導入し、申し込みから結果受取までスマホまたはパソコンで行えるようになり、支払い方法もコンビニ払いや電子決済が可能になった。また、広く周知するため、平成27年度は自己負担金なしで実施したため、受診者が激増した。平成28年度からは自己負担金を徴収したため、受診者数が減少しているが、平成26年度より増加していることから、スマホdeドックに移行した効果はあったと考える。歯周病検診は、受診率が横ばいであるため、受診率向上の取り組みが必要であると考える。
-----------------------	---